

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600750		
法人名	株式会社ジェイコム		
事業所名	グループホーム丹原の郷		
所在地	愛媛県西条市丹原町池田1267-1 (電話) 0898-76-2880		
管理者	山内美登里		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月28日	評価確定日	平成20年8月5日

【情報提供票より】 (平成20年6月18日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成15年6月18日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤	25人, 非常勤 3人, 常勤換算 26.3人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年6月18日現在)			
利用者人数	27 名	男性 3 名	女性 24 名
要介護1	9 名	要介護2	4 名
要介護3	10 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.2 歳	最低 69 歳	最高 97 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>「地域行事に参加する」ことを事業所の理念に揚げ、地域とかかわることを積極的にすすめ、町の商店街で行われる七夕祭りや地域祭等に積極的に参加されている。 職員は、日常的に利用者ご本人から希望等を聞くようにされている。ご不満があるような場合には、ゆっくりと納得のいくまでお話を聞き、話し合うようにされている。 地域の要望も多くあり、事業所内でショートステイや通所介護を受け入れておられる。ご自宅で飼っておられた愛犬と一緒に入居された方は、雨の日も、職員とともに散歩をさせておられる。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、介護計画の内容の充実に取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、職員で評価項目を分担して取り組み、話し合いをされてユニットのリーダーがまとめられた。職員は、自己評価作成時、ケアについて振り返り、雰囲気作りや利用者を受け入れることの大切さを感じられていた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議では、事業所の活動の報告や利用者の暮らしの希望等を発表し、出席者にご意見をいただく等されている。又、介護計画の立て方や、利用料金についても説明等されている。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、ご家族あての「日常生活報告書」で、利用者個々の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。又、遠方にお住まいのご家族の方には、電話等で近況報告をされている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所では、利用者とともに菊の花を育てておられ、秋には菊見会等を開催されている。地域の方達の見学も年々増えている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 丹原の郷

(ユニット名) 上町

記入者(管理者)
氏名 山内 美登里

評価完了日 平成20年5月18日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			ホーム開設時の理念を、わかりやすい文章にして各ユニットに貼りだしたり、職員の名札の裏に記載し、いつでも職員が確認できるようにしている。		
			(外部評価)		
			「地域行事に参加する」ことを事業所の理念に揚げ、地域とかかわることを積極的にすすめ、町の商店街で行われる七夕祭りや地域祭等に積極的に参加されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			各ユニットの事務所内に掲示し、名札の裏にも記載している。		入居者や来所者にもわかりやすい場所に掲示する。毎日の申し送り時、職員全員で確認する。
			(外部評価)		
			事業所の理念を名札の裏に記載し、共用空間にも掲示され、職員間で共有して理念を实践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			行事や運営推進会議など外部の方が来所される時や地域の行事（秋祭り、神明祭り、七夕祭り、敬老会など）に参加した際に施設の理念について説明し理解をいただいている。広報誌を作成し、配っているが理念についての記載はしていない。		家族や地域の方々に理念を記載した広報誌を配ったり、行事に参加した際に交流を深め理解してもらえるようにして行く。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎朝の散歩時に出会った近所の方に職員、利用者とも積極的に挨拶をしたり、軽く談話をしたりしている。犬の散歩時には犬を通じての交流を持っている。		近隣の住民と挨拶や談話を通して顔なじみの関係が少しでもできるよう職員は工夫する。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 交流が持てるよう常に意識し、努力している。秋祭り時は神輿やだんじり太鼓台がホームへ集まってくれ、写真撮影したり、七夕祭りではホームで七夕飾りを作成し出品している。また地区の敬老会へ何人かの利用者が参加している。 (外部評価) 事業所では、利用者とともに菊の花を育てておられ、秋には菊見会等を開催されている。地域の方達の見学も年々増えている。		地域の行事など他に参加できないことがないか検討し、参加して地域社会との交流を深めたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) デイサービス事業所、配食サービスや居宅支援事業所が併設されており、地域の高齢者の相談窓口となっている。民生委員の方や地域の方々も相談に来られる。		施設内だけではなく、民生委員、家族とのつながりを大切にし、地域社会と情報交換をしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価結果を各ユニットで話し合い、改善点や反省点などを確認した。 (外部評価) 自己評価は、職員で評価項目を分担して取り組み、話し合いをされてユニットのリーダーがまとめられた。職員は、自己評価作成時、ケアについて振り返り、雰囲気作りや利用者を受け入れることの大切さを感じられていた。前回の評価結果を受けて、介護計画の内容の充実に取り組まれた。		各ユニットで話し合った内容を全員で理解、反省し、今後の実践にいかしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			利用者の代表、家族の方、民生委員、市役所の方などに参加していただき、管理者、各ユニットスタッフがサービス内容や行事について写真など資料を使い報告し、意見を聞いている。(1回/2月)		参加していただける方を多方面にわたり増やしていきたい。
			(外部評価)		
			会議では、事業所の活動の報告や利用者の暮らしの希望等を発表し、出席者にご意見をいただく等されている。又、介護計画の立て方や、利用料金についても説明等されている。		今後、会議に近所の方等、いろいろな方に参加いただけるよう呼びかけたいと考えておられた。会議時、出席者から意見を引き出せるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村担当者と情報交換を行い、地域の高齢者福祉やそれぞれのケースについて話し合っている。(主に管理者)		市の担当者がグループホームの生活を見に来ていただけるような機会を増やしていきたい。
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられ、ケアの質向上に向けて話し合われている。運営推進会議時、市の担当者の方より、ご家族の声の大切さについてお話をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			権利擁護についての研修に参加している。また、必要な人への対応は管理者が行っている。		職員全員が権利擁護事業や成年後見制度について理解を深めるための勉強会を開く。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止法等について研修会に参加している。また施設内で勉強会を開いている。		外部の研修に参加した職員により勉強会を開き他の職員の認識を深めるよう努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に管理者が説明し、承諾いただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者や家族から管理者が直接話を伺い、事業所で検討している。またアンケートにより利用者や家族の意見を聞く機会を作っている。		利用者の日頃の言動や態度により気持ちを察する事ができるようにしたいと考えている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月ご家族には日常生活報告書を作成し、健康状態や暮らしぶりを報告しているが、職員の異動については報告していない。 外出や行事の時の写真を撮り、掲示し面会に来られたご家族に見ていただくようにしている。また、広報誌でお知らせもしている。		家族が面会に来られた時には最近の出来事などを細かくお話しするようにする。 職員の異動についてもその都度報告するようにしていきたい。
			(外部評価) 毎月、ご家族あての「日常生活報告書」で、利用者個々の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。又、遠方にお住まいのご家族の方には、電話等で近況報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 敬老会やクリスマス会などのイベントの後で家族会を開催しお話しを伺う機会を作っている。また、施設内外の苦情等の窓口を契約の際にお知らせしている。話し合った内容は申し送りや勉強会などの機会に職員に伝えられている。		回数を増やし、何でも話しやすい雰囲気作りをする。 気軽に参加してもらえるよう声かけをしていく。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等でも、ご家族から意見をいただけるよう働きかけておられる。		今後、事業所では、アンケートの様式を工夫する等、ご家族から要望や意見を引き出せるよう、取り組みをすすめていきたいと考えておられた。さらに、ご家族の心情も踏まえて、話し合える雰囲気作りやきっかけ作り等、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会に管理者も参加し皆で意見を出し合って話し合っている。 ケアセンター全体で話し合うために職員会を年に2回開いている。		なるべく多くの職員が参加し意見を述べる機会をつくる。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 外出時やイベント時はなるべく多数の職員配置をとっている。		職員配置の見直しも考慮する。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の退職などによるやむを得ない異動のほかはできる限り不必要な異動はしていない。		異動がある場合には、異動先のユニットで早く利用者やユニットの雰囲気にならなむよう、利用者との関わりを持ったり、職員の情報交換など工夫していく。
			(外部評価) 事業所では、職員の採用時、「人へのやさしさと愛情」を持っていることに重点を置いておられる。職員の悩みには、センター長がゆっくり話を聞き、アドバイスをされている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内研修また外部での研修の機会はある。掲示板に研修の情報を貼りだしている。 研修を受けた人は報告書を書き資料等は全員で見ることができるようになっている。		職員も自ら研修や講演会の情報を調べたり、なるべく多くの人が参加するようにしていきたい。
			(外部評価) 職員の希望を聞き取り、勉強会を行なっておられる。又、系列病院で「感染症について」や「老人医療について」等、定期的に勉強する機会が設けられており、職員は交代で参加されている。		職員は、介護の知識や技術の向上に向けてさらに勉強を重ねていきたいと話しておられた。今後も、職員の段階に応じた研修等を重ね、貴事業所のさらなるサービスの質の向上に向けて取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域のグループホーム連絡協議会に参加して情報交換している。同一法人内のグループホームや施設についての情報は比較的入りやすいが、他の施設についてはあまり情報が無い。		見学や情報交換の機会を作っていききたい。
			(外部評価)		
			相互評価時に交流のあった他事業所の職員とは、その後も菊見会に訪問がある等、交流を続けておられる。又、地域の福祉施設とともに果物狩りを楽しまれる等、交流を持っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者と個人面談をおこなって勤務についてや悩みを相談しているが、時間がとれず、行っていない人もいる。		短時間でも時間を作り話し合う場を持っていききたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			介護福祉士やケアマネージャーなど受験資格のある職員には試験への挑戦を勧めている。資格試験対策の勉強会などを開催している。		資格取得後その資格を行かせられるような環境作りをしていききたい。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			ご利用前に同一施設内のデイサービスなど利用していただき、情報収集などをおこなう場合もあるが、通常は事前面接などで情報収集するのみである。		日常生活のちょっとした会話の中から本人の考えている事や求めていることなど感じ取り記録し、職員間で情報の共有をし、利用者の理解に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所申し込みの際や見学に訪れた時などに、詳しく話を聞き、相談にのったりして親身に対応している。		家族の話をゆっくり聞く機会を作り、これまでの状況など情報収集し、今後何を求めているか理解しようと努力していく。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、まずじっくりと話を聞き、その内容から本人や家族の思いをくみ取り、確認し、必要としている支援方法や改善に向けた支援方法を提案したりして信頼関係を築いている。		相談を受けた時の本人、家族の実情や思いから、現在何が必要かを見極め事業所としてできる限りの対応をしていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族、関わりのある方に来てもらいグループホームでの生活を見学したり体験していただいて、安心感を持ってもらうようしている。 併設のデイサービスセンターを利用中、ホームとの交流を持ち、施設や職員に馴染んでもらってから入居される方もいる。 (外部評価) 併設のデイサービス利用者の入居もある。入居前には事業所を見学いただき、事業所での生活について説明をされる等、ご本人、ご家族ともに納得を得て入居に至れるよう取り組まれている。		ご本人・家族などと十分に話し合い、納得のいくような利用開始の調整を行っていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという尊敬の念を職員全員が共有しており、一緒に過ごすことである学ばせてもらえる機会をつくるように工夫したり、声かけに配慮したりしている。 (外部評価) 職員は、利用者同士のかかわり方等から「付き合い方」を学んでおられる。利用者から料理等、家事を教えていただくことも多い。		なるべく多くの時間を過ごす事で喜怒哀楽を共にし、信頼関係を築いていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員は家族の思いを受け止め、立場に立ち、日々の気づきや情報の共有をしている。		家族会や運営推進委員会などで、家族とよく話し合い、情報交換していく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	(自己評価) 本人や家族の思いや状況を踏まえて、行事と一緒に参加していただいたり、また一緒に過ごす事を楽しめるよう雰囲気作りをしたりしている。		今まで以上に利用者と家族とのつながりを深めていけるようホームでの暮らしや介護に家族が関われる場合や機会作りをしていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 飼っている犬のトリミングルーム、行きつけの美容院など続けていけるようにしたり、またお墓参りなどそれぞれの生活習慣を大切にしている。		本人や家族に話を聞いて情報収集し、馴染みの人や場所を把握し、生活や行事にいかしていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食事やおやつ時間は職員も一緒に過ごし、共通の話題を通して利用者同士の関係が円滑になるように働きかけるようにしている。		利用者同士の相性などを配慮し、利用者同士のトラブルや孤立した利用者の対応に気をつけたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所の際にいつでも相談に来ていただくように声かけし、外で出会った時には様子を伺ったりして、お付き合いを継続している。		サービス利用がなくなっても、これまでと変わらず交流を持ったり、地域の方として遊びに来てもらったりする良い関係を継続していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中でのなるべく話をゆっくりと聞く機会を作り、その内容から把握するよう努めている。		利用者の思いを日々の会話、行動、表情より汲み取り、理解していけるようこれからも努力していきたい。
			(外部評価)		
			職員は、日常的に利用者ご本人から希望等を聞くようにされている。ご不満があるような場合には、ゆっくりと納得のいくまでお話を聞き、話し合うようにされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			日々の生活のなかで、利用者と談話時や家族、知人來られた時など、お話を伺い違和感なく少しずつ把握するようにしている。		利用者個人についての生活歴や個性、価値観等を把握していきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			主になる担当者を決め、その方の生活パターンを把握しケアプランに反映している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者が今までと同じように自分らしく暮らせるよう、本人、家族の要望を聞き、ユニット会やカンファレンスを開き、介護計画にいかすようにしている。		職員の視点の計画でなく、利用者のための介護計画を心がけていきたい。
			(外部評価)		
			毎月、職員が集まり介護計画について話し合い、ご家族の意見も採り入れ、計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			月に1度カンファレンスを行い、状況に合った計画の見直しをしている。介護計画と照らし合わせて現状の介護が適当であるかを随時見直ししている。		
			(外部評価)		
			定期的見直しと、状態変化時には随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、体調不良や精神面などの変化を記録し、スタッフ全員が目とするようにしている。毎月介護計画についてカンファレンスを開いている。		介護計画が実践されたかどうかや、その他変化や介護計画の評価を記入し、それぞれの利用者にあった日常生活介護にいかしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ショートステイや通所介護を行い家族の要望に合ったサービスをおこなっている。		
			(外部評価)		
			地域の要望も多くあり、事業所内でショートステイや通所介護を受け入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 歌謡ショーや美容ボランティアの方が来てくれている。地域の方が野菜や草花の手入れに来てくれ利用者と一緒に野菜の収穫をしている。消防機関と協力して避難訓練をしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 入所前の担当のケアマネジャーが様子をうかがい来られた際に、在宅での様子を話してくれ、本人の意向を確認し、マッサージなどいくつかのサービスを個別に利用されている。		必要があればサービスを探したり、相談にのるなど支援していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 研修に参加したり、勉強会などを通じて、権利擁護などについて、職員全員が理解するようにしている。市町村の担当者や、包括支援センターとの情報交換などについては主に管理者が行い、必要な場合には協働している。		研修や勉強会などで学んだことを、ご本人やご家族から相談があったときにいかしていきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) グループ内の医療法人との連携がとれているので、早急な対応が可能で、適切な指示がもらえている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な場合は、ご本人や家族に相談し、神経内科や脳外科医を受診している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員が常に利用者の状態を把握し、体調変化等の際には相談ができ、適切な対応ができています。		夜間の状態変化時の対応や相談がスムーズに行えるようにマニュアル作りを取り組みたいです。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中も家族や医師と情報交換しながら、ご本人の状態を把握し、スムーズに退院し施設での生活が再開できるようにしている。		退院時カンファレンス等に参加し、情報交換して安心して利用者が施設での生活が再開できるようにしていきたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者と家族と管理者、協力医療機関の医師を交え、入居時の面接や、体調変化時などに、重度化や終末期についての話し合いの機会を作っている。 (外部評価) 入居時、ご本人ご家族に事業所の浴室や浴槽等も見ていただき、事業所でどの段階まで対応可能か知っていただき、納得いただけるよう取り組まれている。ご家族は、ご本人の状態に応じて、医師とも話し合うようになっていっている。		利用者の変化に応じ、その時々適切な話し合いが持てるようにしていきたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 定期的にかかりつけ医の往診を受け、日頃から利用者の状況を協力医療機関とともに把握し、急変時に適切に対応できるよう連携をとっている。		適切な対応ができるよう、職員も研修や勉強会において知識と対応について正しい理解ができていようにする。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者や家族の方と十分な話し合いをし、また転居先の施設や病院の相談員に情報提供し、引き継ぎをおこなっている。		家族・外部の関係者との連携を図り、情報の収集や交換がスムーズに行えるよう転居後のフォローなど必要なかどうか相談していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 更衣は居室で行い、介助が必要な方もトイレのドアを閉めるなど声かけ等も配慮し、プライバシー保持に努めている。 また、面会簿やその他の記録等は事務所で適切に保管している。</p>		<p>個人の尊厳や個人情報の取扱い等について、研修や勉強会を通してさらに全職員に徹底していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51			<p>(自己評価) 日常生活の各場面（服を選んだり、飲みものを選んだり、行事に参加する事など）についてご本人の希望を聞いてお手伝いするようにしている。</p>		<p>さらに、職員の利用者に対するかかわり方について「さりげないケア」という点から話し合う機会とされてはどうか。</p>
			<p>(外部評価)</p>		<p>その他、ご自分で判断、決定できるような場面がないか検討していきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 長年一緒に生活していたペットなど、問題がなければ一緒に生活できるように環境や他の同居者の調整をしたり、花や野菜などが好きな方には、一緒に育てるお手伝いをしたり、それぞれの生活歴を大切にするような環境を整えるよう職員間で話し合いを持ったりしている。</p>		<p>利用者すべての人の希望に対応できているか、モニタリングし評価していきたい。</p>
			<p>(外部評価) ご自宅で飼っておられた愛犬と一緒に入居された方は、雨の日も、職員とともに散歩をさせておられる。昼食後に、共用空間の和室で横になっておられる方もおられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節にあった服装ができるように、衣替えの手伝いや買物を援助し、行きつけの散髪店などがあり、お連れできる場合はお連れし、自宅でできていたことが継続できるようにしている。		左記のほかに何かできる事がないか、スタッフで検討している。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各人の能力を評価し、調理や配膳など役割分担していただいている。また、それまでの生活の中で培った知恵などを教えていただいている。		できるだけ多くの方がメニューを考えるなど、食事について一緒にできる事を見つけていきたい。
			(外部評価) 食事作りに、利用者の力量に応じて、無理なくかかわることができるよう場面作りをされている。らっきよや梅を漬ける等、季節のものや旬のものを採り入れ、利用者に教えていただきながら作っておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人や家族と体調など相談しながら好みの飲み物や甘いものを楽しんでいただくようにしている。		昔ながらのお菓子やおかず等、レシピを復活し楽しんでいただくようにしていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけ、ご本人のプライドを傷つけないようなトイレ誘導をして排泄の自立を目指している。		利用者の状態を把握し、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			気持ちよく入浴していただくようにスタッフ全員相談し、その人に合わせた声かけや生活習慣に合わせた入浴を心がけている。		
			(外部評価)		
			入浴時、身体は出来るだけ自分で洗えるよう支援されている。足湯を楽しみに出かけられることもある。		利用者の中には温泉を楽しみたいというような希望も出されている。ご家族にも協力を得る等、さらに、利用者個々がお風呂を楽しめるような支援を重ねていけることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人一人の生活パターンを把握し、その人に合った休息や睡眠がとれるようにしている。入眠前にはホットミルクを飲んで頂いている。		不眠が続くような方については、多職種が集まり原因を話し合い解消できるように努めていきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			カレンダー作り(色塗り、折り紙の手作業) 野菜の種まき、水やり、菊の花育てる 調理の手伝い(食器洗い、配膳、盛り付け) 洗濯物を干したりたたんだりする 干し柿作りなど、季節感のある行事への参加		グループホーム内だけでなく、社会の中での役割を実感していただくにはどうしたらよいか、相談検討していきたい。
			(外部評価)		
			季節に応じて果物狩りやお花見を楽しまれている。又、畑の世話や利用者それぞれの鉢で菊を育てておられる。雨の日でもウッドデッキでくつろげるようになっていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者がお金を持つ事の大切さを理解し、一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり使えるように支援したい。		左記の援助をさせて頂いている方について、その方にとって金銭管理とはどういう事なのかスタッフで話し合い実践していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			お天気の良い日や近所で催し物(季節の行事や敬老会)がある日は、ご希望のある方は安全に外出を楽しめるようにしている。		継続して、更に外出の機会を広げ地域の催し物に参加していけるようにしたい。
			(外部評価)		
			天候等を見ながら毎日散歩を楽しまれている。時に、利用者の馴染みの場所に出かけてみるようなこともある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			職員が花見や足湯などを企画して、ご利用者、家族に声かけし、外出の機会を持っている。個別な外出についてはご家族に協力していただいていることが多い。		個別な外出への対応について話し合いを持ってみる。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			年賀状など作成から楽しんでいただけるようお手伝いし、毎年出している。		年賀、暑中見舞い、絵手紙など創作から楽しんでいただき、知人等との交流が継続できるようにしていきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会の方が来られた時は、気持ちよく対応し、行事(敬老会、クリスマス会、お花見など)の時、家族の方にもお知らせし、参加していただくようにしている。		面会時間を決める事はせず、ご家族やお知り合いが訪ねてきやすいように配慮している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修や勉強会に参加し、身体拘束について認識を深め、また利用者の残存機能をいかしたケアを目指しており、身体拘束はしていない。		スタッフがゆとりを持って「待つ」ことにより、更に個人を尊重するようなケアを目指していきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ドアにベルをつけ訪問者に気づくようしたり、スタッフの連携により見守り行い、夜間以外は施錠していない。		職員は利用者の活動や所在を把握するように努力する。
			(外部評価) 日中、玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者それぞれの状況についてスタッフが情報を共有し、プライベートな居室などでも安全に過ごせるように配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) マッチやろうそくなど危険物については、利用者やご家族と施設職員が話し合い、代替え品を使用したり、安全に管理できるようにしている。		入居時に物品について十分に話し合いをし、途中で話し合いの必要がないようにして行く。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 誤嚥の可能性のある人は粥やキザミ食にしている。ヒヤリハットの報告により、職員間で話し合いを持ち、改善や対策方法を考え、同じ間違いやミスを繰り返さないよう努力している。		危険予知訓練（KYT）などの勉強にも取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師を中心に月に1度勉強会を持ち対応など勉強している。		応急手当、初期対応をもっとしっかりと勉強する必要がある。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署指導のもと火災訓練をしている。運営推進委員会の際に地域の協力者に協力を要請したりしている。 (外部評価) 年2回火災時の訓練を行っておられ、地震時の対応についても話し合っておられる。避難場所の確認をされている。		災害時には地域の協力が一番大切なので、運営推進会議や相談委員などに訓練等にも参加してもらいたい。 今後、夜間を想定しての避難訓練や、利用者とともに避難訓練を行いたいと考えておられる。さらに、地域の方達との相互協力体制を作っていかれることも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時や担当者会などにおいて、体調や歩行レベルが変わったときの対応について担当者がご本人や家族に説明し理解を得ている。さらに面会時に相談さしあげたり、手紙でお知らせしている。		リスクマネジメントの研修に参加したり、勉強会を持ったりして、個々のリスクについて職員が共通の認識を持ち、家族に説明できるようにする。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、朝、入浴前にバイタルチェックしている。異常な場合は看護師、管理者に相談し対応し、必要な場合は病院を受診している。		個々の利用者の状況を日ごろから把握し、異変時には早急に適切な対応や相談ができるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬はユニットのリーダーが管理している。処方された薬についてはお薬表をカルテに綴じ、利用者がどんな薬をいつ飲んでいる職員が把握できるようにしている。薬が変わったときにはスタッフ全員に申し送りをきちんとしている。服用時には声に出し名前と朝食後など確認してから服用してもらっている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表によりそれぞれの利用者について職員全員が把握している。緩下剤を使用している人もいるが、できるだけ薬に頼らず排便できるように食事を工夫したり、センナ茶などを使用している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の前後の口腔ケアをきちんとしている。夕食後は入れ歯を外し洗浄し週2回ポリドントし、舌の確認もしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考え献立をたてている。水分については摂取量を記入して確保できるようにしている。入浴前後、入眠前の水分補給もおこなっている。		個別の栄養指導に取り組んでいきたい。
			(外部評価) 利用者の状態に応じて減塩に心がけられたり、調理方法等にも配慮をされている。水分摂取にも気を配り、夜間トイレに起きられた際には、水分を摂れるようすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 利用者は戸外から帰ったら手洗いうがいをしている。職員は仕事に就く前に手洗いうがいをしている。食事前には石鹸で手を洗い消毒している。食事の準備の前には手洗いをしている。また手拭きにはペーパータオルを使用している。		感染症予防の勉強会を定期的に持ち、季節などに即した感染症予防について職員の認識を深めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 食材は新鮮なものを購入している。 衛生栄養委員会を中心に定期的にあきんとまな板の除菌をし、冷蔵庫の掃除を行い、手洗いにはペーパータオルを使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関先には季節感のある置き物や花を飾っている。 花壇に季節の花が楽しめるようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節の飾り付けや花を生けている。（雛祭り、五月人形、クリスマス、お正月飾りなど） 畳の部屋があり、家庭的な雰囲気を楽しめるようにしている。また対面式キッチンになっており、食事のしたくなどしながら会話ができる。</p> <p>(外部評価) 共用空間に和室があり、洗濯物を畳んだり、横になって休んでおられる方もうかがえた。玄関周りの草花を眺められるよう、ベンチが設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) テレビ、廊下などにソファをおき思い思いの居場所作りをしている。</p>		<p>利用者と面会者と落ち着いて話のできるスペースを作りたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたタンス、テーブル、鏡を持ってきていただいている。愛犬との生活が継続できるよう環境を整えたり、他の利用者の了解を得たりしている。仏壇を持って来て、自宅での習慣が継続できるようにして頂いている。		
			(外部評価) ご家族からのプレゼントを大切に飾られている方がおられる。介護度が重度で居室で過ごすことが多い方には、ご家族からの要望でお好きな花の写真が多く飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) お天気が良ければ、窓を開け換気に気を配り、加湿器なども使用して温度、湿度の調節をこまめにおこなっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 階段、廊下、浴室には手すりが取り付けられており、安全に移動できるようにしている。 洗濯など干し易い高さに干せるように工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレを「便所」と表示してわかりやすいようにしている。ご本人やご家族の了解をえて、お部屋に名札を掲げて戸惑いを減らしている。わからない時は声かけしたり、誘導している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 草花や野菜を植え利用者と一緒に育てている。ベンチを置き、戸外でおしゃべりしたり、レクリエーションを楽しんでいる。		野菜や花作りをととても楽しみにしているので継続して楽しみたい。菊の花作りも水やり、植え替えなど熱心に行っている。ご家族や近所の方にも楽しんで頂いている。

自己評価及び外部評価票

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ほぼ全員の願い暮らしの希望を把握しているが、実際には2/3程度しか実行できていない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつ時間、レクリエーションをほとんどの利用者職員が楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の方やその日のスケジュールにより異なるが、体調の悪い時には遅く起きたり、また入浴などできるだけ希望を聞いて、個々の意思を尊重している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩は毎日日課となっている。 自分の仕事として食器洗いを一生懸命にしている利用者がある。スタッフが手伝うと「手伝ってくれてすまんねえ」などと言われる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	施設の周囲の野菜畑や花壇へは一人でいける方も多く、また買物などへは車で出かけるので職員と一緒にいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	週1回往診があり、また看護師の常駐により体調の悪い時等はすぐ対応できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	帰宅願望があったり、精神的に不安定な時には職員が対応したり、また職員で対応できない時は管理者に報告し対応してもらい、できる限り落ち着いて生活できるようにしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	毎月、日常生活状況を文章で報告しており、面会時にも近況を知らせている。 体調不良や変わったことがあれば管理者職員がご家族に電話連絡をし、安心していただいている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ボランティアの野菜作りの方が時々来て下さり、一緒に苗を植えたり草引きを楽しんでいる。

自己評価及び外部評価票

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	2カ月ごとに会議を行い、行事(写真を見てもらい)について報告したり、利用者の代表の方からの意見や希望を聞き、その他に関係者の方々からも意見を聞き、話し合いを行い、協力者や応援者が増えている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チームワークができており協力し合っている。体調の悪い時には助け合っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日楽しく散歩したり、お食事を一緒にしているが、時々自分の思い通りにならないとイライラしたり、他の利用者にあたられたりする方もいる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	運営推進会議やケアプランのサービス内容でも理解していただき満足していただいていると思っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・筋力低下予防のため、毎朝散歩(30~40分)に行き、雨天の場合には廊下歩行をする等日課となっている。
- ・食事の前にはラジオ体操、口腔体操を必ず行っている。(兆食前には行っていない)
- ・残存機能を生かすため、できる事は自分でしてもらっている。
- ・地域性を生かし、果物狩り(柿、イチヂク、サクランボ、イチゴ、栗)に多く参加している。
- ・4, 5月には、近くのお寺や公園にさくら、藤のお花見に出掛け季節感を味わって楽しんでいる。